

令和4年5月17日	参考資料1-4
第10回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会	
令和4年2月24日	資料1-1
第9回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会	

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 目標一覧

別表第一 歯科疾患の予防における目標

(1) 乳幼児期

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 3歳児でう蝕のない者の割合の増加	77.1%	83.0%	88.1%	90%		厚生労働省実施状況調べ (3歳児歯科健康診査)
	平成21年	平成27年	令和元年	令和4年度		

(2) 学齢期

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 12歳児でう蝕のない者の割合の増加	54.6%	64.5%	68.2%	65%		文部科学省「学校保健統計調査」
	平成23年	平成28年	令和元年	令和4年度		
② 中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	25.1%	19.8%	-	20%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		

(3) 成人期 (妊産婦である期間を含む。)

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	31.7%	27.1%	21.1%	25%		厚生労働省「国民健康・栄養調査」
	平成21年	平成26年	平成30年	令和4年度		
② 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	37.3%	44.7%	-	25%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		
③ 40歳の未処置歯を有する者の割合の減少	40.3%	35.1%	-	10%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		
④ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加	54.1%	73.4%	-	75%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		

(4) 高齢期

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 60歳の未処置歯を有する者の割合の減少	37.6%	34.4%	-	10%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		
② 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	54.7%	62.0%	-	45%		厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度		
③ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60.2%	74.4%	-	70%	80%	厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度	令和4年度	
④ 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	25.0%	51.2%	-	50%	60%	厚生労働省「歯科疾患実態調査」
	平成17年	平成28年	-	令和4年度	令和4年度	

別表第二 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上における目標

(1) 乳幼児期及び学齢期

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少	12.3%	12.3%	14.0%	10%		厚生労働省実施状況調べ (3歳児歯科健康診査)
	平成21年	平成27年	令和元年	令和4年度		

(2) 成人期及び高齢期

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	73.4%	72.6%	71.5%	80%		厚生労働省「国民健康・栄養調査」
	平成21年	平成27年	令和元年	令和4年度		

別表第三 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健における目標

(1) 障害者・障害児

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	66.9%	62.9%	77.9%	90%		厚生労働科学特別研究
	平成 23 年	平成 28 年	令和元年	令和4年度		

(2) 要介護高齢者

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加	19.2%	19.0%	33.4%	50%		厚生労働科学特別研究
	平成 23 年	平成 28 年	令和元年	令和4年度		

別表第四 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備における目標

具体的指標	策定時の ベースライン値	中間評価	最終評価 (直近値)	目標値	(変更後)目標値	データソース
① 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	34.1%	52.9%	-	65%		厚生労働省「国民健康・栄養調査」
	平成 21 年	平成 28 年	-	令和4年度		
② 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加	6都道府県	26 都道府県	45 都道府県	23 都道府県	47 都道府県	厚生労働省実施状況調べ (3歳児歯科健康診査)
	平成 21 年	平成 27 年	令和元年	令和4年度	令和4年度	
③ 12歳児の一人平均う歯数が1.0 歯未満である都道府県の増加	7都道府県	28 都道府県	37 都道府県	28 都道府県	47 都道府県	文部科学省「学校保健統計調査」
	平成 23 年	平成 28 年	令和元年	令和4年度	令和4年度	
④ 歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加	26 都道府県	43 都道府県	46 都道府県	36 都道府県	47 都道府県	厚生労働省歯科保健課調べ
	平成 24 年	平成 29 年	令和3年	令和4年度	令和4年度	